

1. ちりはまホテルゆ華の購入について

【質問】事業の成功に向けての市長の熱意を問う。

【答弁】県をはじめ関係機関との連携、協力が不可欠であり、実現に向けて全力を傾注していく覚悟である。

【質問】説明のスピード感が足りなかったのでは。

【答弁】今後は迅速かつ積極的に行うよう十分留意しながら取り組んでいく。

【質問】市民への説明や理解が必要な情報については、早急に市のホームページに掲載すべき。

【答弁】ホームページをはじめ広報誌など様々な媒体を通じて、また、説明会等の開催により、積極的かつスピーディーに情報を提供したい。

【質問】価格が安くなった背景、経緯の説明を。

【答弁】土地の取得及び保養所設置の経緯や、市民に対する財政負担、宿泊施設として継続運営していくことなどを説明し、理解をいただいた。

【質問】市内宿泊業者と競合の不安があるので料金の下限を設定できないか。安価な料金を設定しないのであれば明言を。

【答弁】ゆ華はグレードの高い施設であり、市内宿泊業者とは競合しない運営方針である。安価な料金設定は予定していない。

2. 羽咋市の教育における教育委員会の見解について

【質問】教育活性化懇談会において、学識経験者の総括として「羽咋中が荒れたのは保護者が騒ぎ立てたからである」との発言があったと聞く。

【答弁】周囲の配慮が必要であったとの趣旨で発言されたものと理解している。

【質問】発言は教育委員会や教員の共通認識あるいは本音ではないのか。

【答弁】家庭、地域との連携なくして教育活動は成り立たないと考えている。これこそ教育に携わる者としての共通理念であり、不易の部分である。

【質問】意見や提言は、今後市民の皆様はどうやって公開され、またどう生かしていくのか。

【答弁】学校、家庭、地域等への通知や市のホームページなどで取り組みの普及啓発を図り、検証改善に努めていく。

【質問】教育委員会の制度改革に対しての見解は。

【答弁】今後、国の動向を見守りたい。

3. 犯罪を未然に防ぐための不審者情報の共有について

【質問】注意・警戒すべき事案があったということすら情報の共有がない。それでは子どもたちや市民に対する注意喚起も、犯罪に対する抑止もできない。早急に改善すべき。

【答弁】不審者情報を速やかに把握し共有することが、危険を回避し事件や事故を防ぐことにつながると考える。

【質問】メーリングリスト、ホームページや防災行政無線の活用などを検討できないか。

【答弁】不審者情報を地域で共有し、登録者への電子メールの配信や市のホームページ及び防災行政無線などの活用を検討する。

4. 自然栽培等に取り組む若い農家を支援することについて

【質問】自然栽培等の環境保全型農業に取り組む若い農業者を支援する考えは。

【答弁】情報発信方法や千里浜インター付近の観光交流拠点への販路の構築を目指す。JAはくいの直売所で販売を試験的にやっていきたい。

【質問】ふるさと寄付金の特典に使ったり、ゆ華での食材として使ったり、市が関連するさまざまな媒体で取り上げたりなどできないか。

【答弁】まずは塾で習得した技術を生かしていただき、安定的な供給を実現できることが重要であると考えている。

5. 介護保険制度改革に伴うボランティア・NPO・地域団体の支援について

【質問】要支援者の生活を支えていくためにボランティアやNPO、地域団体の役割が求められているが、それらの存在をどう捉えているか。

【答弁】支援する側とされる側という関係だけではなく、サービスを利用しながら地域とのつながりを維持できる点でも存在は重要であり、その役割を期待する。

【質問】具体的にどう支援し、どう協力を求めていく考えか。

【答弁】活用は国からも示されており、事業には積極的に参加いただく考えである。今後、国から示されるガイドラインなどの具体的な情報をしっかり把握し、適切な対応をしていく。